

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事中にスタッフは支援や見守りを行っているが、一緒に食事をするスタッフがおらず、支援する側、される側に分かれてしまい、食事を楽しむ雰囲気作りができていない。また、食事への導入部分、食事の時間設定、一緒に食事を作るための工夫など改善すべき点は多い。	食事の時間を楽しむことができるための環境づくりと体制の整備。	食事作りから片付けまでの支援の見直し ・食事作りを一緒に行う(食事への導入支援) ・食事を入居者とスタッフが一緒に食べることに より食事時間を共有する(休憩時間の見直し) ・ゆったりと食事を楽しめる雰囲気作り(後片付けのタイミングへの配慮) 食事の時間帯の再検討(サマータイム制の導入など)	2ヶ月
2	35	避難訓練を年2回行っているが、冬季の想定など悪い状況下でも避難誘導がスムーズにできるための訓練が必要。また、各自の役割を実践できるための訓練、責任者不在の場合の連絡網訓練などが必要。避難場所の検討は早急に行う必要がある。	実際の有事の際の現場を想定し、不測の事態にも対応できる訓練を行っていく。	入居者参加の訓練だけではなくスタッフのみでの訓練を実施(冬季間の訓練、役割ごとの訓練、責任者不在の場合を想定した連絡網訓練) 避難場所の検討 避難の際に外部の方(近隣住民、消防隊)への利用者情報の周知の方法の検討	12ヶ月
3	10	ご家族の意見を伺う機会が、面会時以外はあまりないため、ご家族の意見が反映できる機会が少ない。	2ヶ月に1回「家族の会」を開催し、スタッフ抜きで運営、支援に関する意見交換ができる環境づくりをする。	改めて「家族の会」を設置するのではなく、2ヶ月に1度、ご家族、入居者の昼食会を企画し、その後に話し合いのできる場を設ける 代表者を決めていただき、運営推進会議のメンバーとして「家族の会」の意見を議題としてあげていただき、運営・支援に反映させる	12ヶ月
4	4 5 11 26	スタッフ会議・ミーティングなどの議事録、支援経過・アセスメント・モニタリング・サービス担当者会議の議事録などが別々に記録されているため、情報が散在し、流れのある記録となっていない。	支援経過、アセスメント、モニタリング、サービス担当者会議の議事録、運営に関する改善点の経過など継続的に検討されていることについて、一目でわかるような記録の整備	記録の様式の改善、整備	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。